



「さらなる飛躍の10年に向けて」

公益社団法人 被害者サポートセンターおかやま
代表理事 加藤 裕司

VSCOは地域の皆様、関係機関、団体の皆様に支えられ、紆余曲折を経ながら昨年20周年を迎えることができました。ご存じの通り、私たちの活動は一般ビジネスの世界と違い、利益を目的とした活動ではありません。公共善（公益性・利他性）であることを旗頭に、小さな善意、勇気、支援の志を多くの方々、関係機関、団体、個人からいただいて成り立っております。

さて、私ごとになりますが、平成30年以来当組織の理事を務めさせていただき、昨年9月に代表理事に選任されました。私は犯罪によって最愛の娘を失った犯罪被害者遺族です。娘の死を知らされた時の胸を引き裂かれるような心の痛み、絶望感、無念さ、後悔……こんな辛い思いは誰にも味わってほしくないのです。同じような痛みを持つ方々が直面する様々な困難を共に乗り越えていく存在でありたい。そこに私が代表理事に選任された意味があると考えました。

現在のVSCOには様々な課題が山積しておりますが、今後、以下の課題解決に向けて努力してまいります。

①関係機関との強固な関係づくり

県警、弁護士会、検察庁、医師会、公認心理師・臨床心理士会、県並びに各市町村等と定期的な情報交換を通じ、同じ目標に向かい、それぞれの専門性を発揮した協力体制・支援体制を築きたいと考えます。

②支援員の拡充

支援員の役割は、電話での相談、直接の面談、病院・裁判への付き添い等多岐にわたります。支援員は、人の役に立ちたい、少しでも支えになりたいという志をもって活動しています。犯罪被害者とその家族の多様なニーズに応えるためには、専門性を有した熱意のある人材（支援員）が求められています。ただ、現在の人員体制ではまだまだ十分とは言えないのが実情なのです。

③専門性強化への働きかけ

VSCOでは毎年、被害者支援員養成講座を開催しております。支援に携わるための知識、専門性を身に付けていただくためにあらゆる機関に働きかけていく予定です。

④県内企業のVSCO会員加入への協力要請

VSCOの活動は前述しましたように公共善の活動です。国や県、市等から補助金、寄付金、支援自販機、会費で活動費を賄っていますが、十分とはいえません。VSCOの活動の活性化には、より多くの県内企業、個人のご理解、ご協力が必要であり、会員増に向けた活動を積極的に行ってまいります。今後ともVSCOの被害者支援活動にご理解とご支援をお願い申し上げます。

●●●●●● V S C O この1年のあゆみ (事業報告) 2023年1月～2023年12月

事業名	実施内容
電話面接・直接支援など	令和3年度から、県の委託を受け、性暴力被害相談員を新たに雇用するなど「性暴力被害者支援センター『おかやま心』」の充実・強化を図っています。
支援員の養成と支援体制	令和5年は、基礎講座を5月から7月まで6回、中級講座は8月から10月まで6回開催し、講座受講者のうち1名を支援員に採用しました。 令和5年11月30日現在の支援体制は、犯罪被害相談員7名、犯罪被害者等給付金申請補助員4名、電話・面接相談員18名、犯罪被害者直接支援員12名、自助グループ支援員4名、事務局職員3名、性暴力被害相談員6名となっています。
研修	全国被害者支援ネットワーク主催の全国研修会（オンライン参加含む）、中四国ブロック研修会下半期（2月）・上半期（9月）に参加しました。また、V S C O独自の継続研修として毎月1回支援のあり方や事例検討等の研修を行いました。
広報・啓発	<p>○ 機関誌の発行 1月に機関誌「心いつでもそばに」第18号を3,000部発行し、会員等へ業務内容、活動状況等の報告を行うとともに、フォーラム等の参加者に配布し、V S C OのPRを行いました。</p> <p>○ 「いのちと魂のメッセージ」のパネル展 フォーラム等の会場で開催し、被害者の声を発信しました。</p> <p>○ フォーラム等の開催</p> <p>① 岡山市共催事業「犯罪被害者支援を考える市民のつどい」 & 「写真展」 令和5年2月12日（日）ピュアリティまきび（岡山市）参加者78人 基調講演 「ビジュアルボイス」～写真で見る性暴力サバイバーたちの思い～ 講師 大藪順子氏 ミニコンサート 岡山市消防音楽隊 2月12日から14日まで、JR岡山駅エキチカひろばにおいて、大藪さんと性暴力サバイバー自身が撮影した写真20点を展示しました。</p> <p>② 岡山県委託事業「犯罪被害者支援講演会」 令和5年10月1日（土）ピュアリティまきび（岡山市）参加者157名 基調講演 「交通事故と被害者支援」～家族の愛～ 講師 交通事故被害者ご遺族 松永拓也氏 ミニコンサート 弦楽五重奏「アンサンブル・ソノーレ」</p> <p>③ 岡山県警委託事業「犯罪被害者支援フォーラム2023in おかやま」 令和5年11月26日（日）ピュアリティまきび（岡山市）参加者102名 基調講演 「子どもへ性暴力は防げる！」～性犯罪の病理と対策～ 講師 犯罪精神医学研究機構・機構長、精神科医、医学博士 福井裕輝氏 コンサート 岡山県警音楽隊</p> <p>○ 情報発信等</p> <p>① V S C Oのホームページ「新着情報」で、活動情報などを発信しています。</p> <p>② フォーラムの開催案内文を県内自治体、関係機関、大学等へ送付するとともに、自治体広報誌等で周知しています。</p> <p>③ 「おかやま心」の啓発用リーフレットを県内大学・専門学校の新入生向けに配布しました。</p> <p>④ 「おかやま心」YouTube動画広告を夏休み期間中及び犯罪被害者週間前後に配信しました。</p>
募金活動	赤い羽根共同募金会の「テーマ募金」で「地域から孤立をなくそう」ささえあいプロジェクトを実施しました。この募金活動で、目標額を集めることができました。 この募金は、被害者支援員養成講座の運営費、「おかやま心」性暴力被害相談員の人件費の一部に充てています。
支援自販機の設置	犯罪被害者支援自動販売機の設置を呼びかけ、12月31日現在72台設置しています。 (p.9参照) 売上金の一部が寄付金となり支援活動を行う上で貴重な財源となっています。
助成事業の実施	日本財団の預保納付金助成事業として、被害者支援員養成講座の開設や相談員に対する研修を実施しました。

令和5年度総会の開催

令和5年度定時社員総会を、6月17日、岡山市北区平和町の「後楽ホテル」で開催しました。令和4年度事業報告を行い、同年度決算書、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録が承認されました。また、1名の理事が選任されました。



総会開会

○ 選任された理事 平松敏男

○ 感謝状の贈呈

正会員歴10年の個人	3名	山崎悦子、匿名2名
賛助会員歴10年の団体	1団体	(株)山田養蜂場
賛助会員歴10年の個人	7名	崎本敏子、高橋茂、匿名5名
多額寄付の団体	4団体	一般財団法人厚生会、みのる化成(株)、ENEOS(株) 学校法人加計学園岡山理科大学
多額寄付の個人	1名	匿名

○ 令和4年度収支報告書(概要)

(収入) 正会員及び賛助会員会費、地方公共団体補助金・負担金、地方公共団体委託費、民間助成金、寄付金、雑収益等 = 合計 22,217 千円

(支出) 相談事業費、直接支援事業費、相談員等養成研修事業費、広報啓発事業費、管理費等 = 合計 23,490 千円
当期経常増減額は1,273千円の減額で、当期一般正味財産増減額は、経常外増減額(会費徴収不能額) △164千円を加えて1,437千円の減額となりました。

○ 令和5年度事業計画(重点目標)

令和5年度は、次の諸点を重点目標として、特色ある活動を行う計画としました。

- (1) 犯罪被害者支援のための活動を、常時多面的かつ総合的に展開する。
- (2) 関係機関との連携を深める。
- (3) 地域の総合力を生かした活動を展開し、また広報啓発に努める。
- (4) 財政基盤を確立強化する。

○ 令和5年度の役員等

顧問	村田吉隆 (元国務大臣・犯罪被害者等施策担当)
	岡崎 彬 (岡山ガス会長)
	皆木英也 (公益社団法人岡山県暴力追放運動推進センター元専務理事)
	松田 久 (岡山商工会議所会頭・両備ホールディングス(株)副会長)
代表理事	加藤裕司 (令和5年9月14日から)
	平松敏男 (令和5年9月14日まで)
業務執行理事	嶋村 稔、片山 文
理事	中島豊爾、若林久義、難波 光、松村正基
監事	森本治雄
事務局長	草加成章

令和4年度収支報告書(概要) (単位:千円)

会費(正会員・賛助会員)	2,204	
地方公共団体補助金	2,180	
民間助成金	1,804	
地方公共団体委託費	13,102	
寄付金	2,747	
雑収益	180	
経常収益合計	22,217	
公益目的事業	相談事業	5,364
	直接的支援事業	1,621
	養成・研修事業	2,542
	広報啓発事業	3,561
	おかやま心事業	6,301
公益目的事業共通	1,093	
法人会計	3,008	
経常費用合計	23,490	
当期経常増減額	△ 1,273	



VSCO が犯罪被害者支援 功労団体表彰を受賞

10月13日(金)に開催された全国被害者支援フォーラムの席上で功労団体表彰を受賞しました。長年にわたり、犯罪被害者等早期援助団体として支援活動を行ってきたことが評価されたものです。



フォーラム 令和5年1月～12月

「交通事故と被害者支援 ～家族の愛～」

●講師 まつなが たくや 松永 拓也 氏 (交通死亡事故被害者遺族)

岡山県との共催で「犯罪被害者支援講演会」

ピュアリティまきび 令和5年10/1



講師 松永 拓也 氏

真菜さんと歩んだ日々

松永さんは、2019年4月19日に発生した池袋暴走事故、高齢ドライバーにより11人が死傷した事故で、奥様の真菜さんと当時3歳の莉子ちゃんを亡くしました。

東京に住んでいた松永さんは、2013年、当時沖縄に住んでいた真菜さんに出会い、遠距離恋愛の後に沖縄で結婚式を挙げました。松永さんは、小学校の頃から腎臓が少し弱くて、自分では治らないと思っていました。結婚後、真菜さんは「私が絶対に治してあげる」と、図書館に毎日毎日通って、腎臓に良い料理を調べて、健診に引っかけられないくらいにしてくれました。人の悪口や愚痴を決して言わず、周りの人に愛を与えて行動する真菜さんの姿に、松永さんは尊敬の念を抱いていました。

2016年莉子ちゃんが生まれました。松永さんが抱っこして、人差し指を差し出したら、生まれたばかりの莉子ちゃんは、ちっちゃい手で握り返してくれました。「命ってなんて尊いものなんだろう。何て愛おしいものなんだろう」と感じました。莉子ちゃんは少しずつ成長して、真菜さんは楽しそうに育児をしていて、松永さんは、本当に幸せだなと感じていました。当たり前のように毎日朝がきて、莉子ちゃんが成長し、真菜さんと添い遂げていくんだろうなど、思っていました。

事故の衝撃と苦しみ

事故当日の朝も、会社に出かける松永さんを、いつものように真菜さんと莉子ちゃんがお見送りをしてくれました。昼休みに、テレビ電話で話をしたのが、最後の二人の姿でした。司法解剖が終わって、二人が警察から自宅に帰ってきてから葬儀までの間、松永さんは眠ることもできず、二人の棺の間に座って真菜さんには、どれだけ愛しているか、莉子ちゃんには、「お父さんとお母さんのもとに産まれてきてくれてありがとう」と、語りかけて過ごしました。

自分も命を絶とうとしたこともありました。マンションの屋上に上がったとき、「お父さん、死ななideほしい」という声が聞こえたような気がして、何とか飛び降りるのをやめました。そして、松永さんは、真菜さんと莉子ちゃんの命を無駄にしないように生きていくことを決めました。

多くの犯罪被害者が経験するインターネットのなかでの根拠のないうわさ、悪意はないけれど傷つけられるような励ましがありません。「前を向かなくちゃ、二人が浮かばれないよ」と、言われると、「被害者や遺族は生きているだけで前を向いているのに」と、考え込んでしまいました。また、SNSでの誹謗中傷で、1回裁判に訴えました。真菜さ



講演の様子

んと莉子ちゃんのことを侮辱されたのがどうしても許せなかったからです。誹謗中傷については、「気にしなければいいよ」と、言われますが、その前に「誹謗中傷する人たちがSNSを止めるべき」と、松永さんは思っています。

松永さんが受けた支援

松永さんは、東京都の被害者支援センターで、臨床心理士によるカウンセリングを受けることや、裁判に付き添ってもらうなどの支援を受けました。また、警察の被害者支援室、被害者精通弁護士の支援も受けました。被害者参加制度で沖縄県在住の真菜さんの父親が裁判に参加する際、国の救済制度で旅費を支給してもらいました。また、友人たちは、松永さんの家に来て、何も言わずに一緒に散歩をしてくれたりもしました。毎日おにぎりをつくって持ってきてくれた町内会の人や、ただ話を聞いて寄り添ってくれた職場の先輩たちもいました。

昔に比べれば、被害者支援が拡充されていますが、松永さん自身、自分の家族が事故に遭う前は被害者支援のことを全く知りませんでした。「もし国民の20%が被害者支援のことを知っていたら、誰かが被害に遭った時に、5人くらいの人に会ったら被害者支援につながって救われるのでは」と、訴えました。

関東交通犯罪遺族の会（通称・あいの会）

現在、松永さんは、あいの会副代表理事として、交通事故の撲滅や被害者支援を拡充するための活動、また、誹謗中傷問題についても活動しています。葬儀後の記者会見で「今回の事故での妻と娘のような被害者と私のような悲しむ遺族を今後絶対に出してはいけないと思いました。必死に生きていた若い女性と、たった3年しか生きられなかった命があったんだということを現実的に感じていただきたいです。現実的に感じていただければ、運転に不安があることを自覚したうえでの運転や飲酒運転、あおり運転、運転中の携帯電話の使用などの危険運転をしそうになった時に、亡くなった二人を思い出し、思いとどまってくれるかもしれない。そうすれば亡くならなくていい人が亡くならずにすむかもしれない。そう思ったのです」と、語りました。このことが、今でも松永さんの心の底にあります。

交通事故は昔と比べると死者の数も減りましたが、それでも2021年2,636名の方が亡くなっています。司法の面でいうと、交通事故のほとんどが過失の扱いになり、過失運転致死傷と判断され、裁判になるのは全体の1.4%しかありません。ほとんどは、略式起訴か不起訴になります。ほとんどがミスで片付けられ、飲酒運転などの危険運転致死傷罪となる条件も厳しいなどの現実もあります。

交通事故をなくすためには、声をあげなくてはなりません。松永さんは、道路交通環境や車の技術などのハード面での働きかけ、講演会活動などドライバーへのソフト面での働きかけをしています。2019年11月には、国土交通大臣に交通事故防止のための要望書を出しに行きました。

また、松永さんは、捜査に協力したり裁判に参加するために、仕事を休まざるをえないことが、精神的・時間的な負担になりました。フラッシュバックがあり、ギリギリの精神状態の中で、事故後1か月休職しました。それは、忌引き休暇、有給休暇、勤続10年の5日間の休みなどを使い切ったものでした。犯罪被害者のための「被害者特別休暇制度」を導入している企業は1.7%しかありません。犯罪被害者のための特別休暇制度の要望を厚労省に出しました。

残念ながら、被害者になると、決して元の生活には戻れません。でも、できるだけ元の状態に戻れるように、被害者支援を拡充して欲しい。事件・事故を自分事として考えて、被害者にも加害者にもならないように、ぜひ安全運転をしていただきたいと、松永さんは訴えました。

大学生がフォーラムの司会

犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会「あした彩」の大学生が司会を行いました。



岡山商科大学
畠山 知大さん

岡山商科大学
土田 達基さん

「ビジュアルボイス ～写真に見る性暴力サバイバーたちの思い～」

●講師 おおよぶ のぶこ 大藪 順子 氏 (フォトジャーナリスト)

岡山市との共催で「犯罪被害者支援を考える市民のつどい」

ピュアリティまきび 令和5年2/12



講師 大藪 順子 氏

STAND

大藪さんは、アメリカシカゴのコロンビア大学を卒業後、アメリカの新聞社でフォトジャーナリストとして、「**文字が読めない人にも、写真でニュースを伝える**」という思いで働いていました。1999年、自宅で就寝中に裏口の鍵を壊して侵入されレイプ被害に遭い、1年半の間、鬱状態が続きました。

この事件をきっかけに、「他の性暴力被害者の人たちが、**どのように被害後**を生きているのか」とアメリカ・カナダで、約100人の性暴力サバイバー（性暴力被害を生きのびた被害者）に会いに行き、話を聴き、その写真を撮影するプロジェクトを始めました。被害者は自己肯定感を奪われ、精神に障害を負うこともあります。このプロジェクトは「STAND: 性暴力サバイバーたち」としてテレビドキュメントとなって反響を呼び、全米で写真展と講演を展開。2007年『STAND - 立ち上がる選択』という著書となりました。

横浜インターナショナルユースフォトプロジェクト

2015年、川崎市の河川敷で中学1年生の男子生徒が殺害されました。加害者は地元で「**ハーフ軍団**」と呼ばれる、日本社会でマイノリティーとして生きていた若者たちでした。大藪さんは、「**彼らをそのまま受け入れる場があれば、あのようなことは起こらなかったのではないか**」と考え、2016年から、横浜の外国とつながる中高生の居場所として写真のワークショップを始めました。中高生は、「**反射**」「**丸**」「**私**」などの課題を与えられて写真を撮り、自分の作品について語ります。写真には、正直に、撮影する人の視点が入ります。写真を撮ることで、若者たちは、**言葉では表現できない自分を表現することができます**。創作活動であるこのワークショップは、後の「STAND Still」のワークショップと同じ手法です。

STAND Still

2019年、大藪さんは、Me Too運動の中で浮き彫りとなった**Me Too** **と言えない性暴力の被害者たちのために**、「STAND Still」のワークショップを始めました。声をあげて社会を変えることは素晴らしいことですが、声をあげられない人もいます。加害者が家族であったり、権力者であったりするからです。「STAND Still」のワークショップは、サバイバー自身が写真を撮る側に立つことで、**言葉では表現できない感情を主体的に表現する**ものです。また、希望者は自分の作品について語り、展示で発表することで、自分の内側の世界を社会と共有します。「怒り」「憎しみ」などの感情を共有することで、自分を解放することになるのです。

大学生がフォーラムの司会

犯罪被害者支援大学生ボランティア連絡会「あした彩」の大学生が司会を行いました。



環太平洋大学
掘田 沙也佳さん

岡山商科大学
谷脇 真悠さん

STAND&STAND Still 写真展

JR 岡山駅エキチカひろば 2/12(日)~14(火)

「犯罪被害者支援を考える市民のつどい」にあわせて、大藪さんと性暴力サバイバー自身が撮影した写真20点を、JR岡山駅エキチカひろばで3日間にわたり展示しました。295人が写真を鑑賞しました。



STAND & STAND Still 写真展

「子どもへの性暴力は防げる！ ～性犯罪の病理と対策～」

●講師 ^{ふくい ひろき} 福井 裕輝 博士（精神科医）

岡山県警察本部・岡山県との共催で「犯罪被害者支援フォーラム 2023 in おかやま」

ピュアリティまきび 令和5年11/26



講師 福井 裕輝 博士

被害者臨床から加害者臨床へ

福井氏は、大学の関連病院のある市で、精神科の臨床医として3年間勤務した時、幻想・妄想が聞こえるという小6の女児の治療にあたりました。当初は、統合失調症や多重人格（解離性人格障害）小児統合失調症等も疑いましたが、原因不明で診断がつかせませんでした。半年後、実はこの女児が、父親から性虐待を受け続けていたことがわかり、衝撃をうけました。

性虐待の被害者である女児の治療を行ったことをきっかけに「性被害には、加害者が必ず存在すること。加害者の問題を解決しなければ、性被害をなくすことができない」という思いから、平成22年にNPO法人性犯罪加害者の処遇制度を考える会、翌年に性障害専門医療センター（SOMECC）を設立し、加害や再犯を防ぐため性嗜好障害などの治療に取り組むこととなりました。福井氏は、加害者の受け皿をつくらなければ、性暴力の問題は解決しないと、説明しました。

福井氏は、加害者の受け皿をつくらなければ、性暴力の問題は解決しないと、説明しました。

加害者の病理

性犯罪者には、前頭葉、視床下部、扁桃体、前頭前野など脳の機能に障害が見られることがあります。発達障害、前頭葉障害、脳体積の減少、脳の血流低下など、明らかに脳の機能に障害がみられることがあります。性犯罪者については、脳の障害をまず疑って欲しい。

世界の現状について、カナダでは、「施設内で行う治療はほとんど意味をなさない」との観点から、性犯罪者を早期釈放して外で治療をします。イギリスは、性犯罪者を収監して社会と隔離するのではなく、社会に出して「社会で再統合する」という方針をとっています。欧米では、ホルモン療法、認知行動療法、薬物療法が認められており、治療や職業訓練等で、加害者を社会復帰させる支援をしています。また、韓国では、性犯罪者にホルモン注射を打つという、世界でもまれにみる政策をとっています。日本では、法務省が性犯罪処遇プログラムを実施していますが、ホルモン療法などがそもそも「治療」としては認められておらず、ホルモン療法や認知行動療法が認められている欧米に30年の遅れをとっていると言えます。

子どもの性暴力は防げる！

小児性愛者は、子どもに接近します。教員・ボランティア等、子どもに携わる仕事をしていることもあり、学校にも「子ども好き」に隠れた小児性愛者が一定数います。

子どもの性被害に気づくためには、

- 性被害者の半数は「相談できない」、「恥ずかしくて言えない」、「誰に相談していいかわからない」という思いがあるので、日頃から家庭や学校等で被害を打ち明けやすくすること
- 狙われやすい条件に、ネグレクト、SNS、家出等があること
- 子どもを見て、「何か変？」という直感を大切にすること
- 子どもの身体の症状も大切にすること

性犯罪をなくすには、各機関（警察庁、厚労省、治療機関等）や民間施設が連携して取り組むことが大切です。性犯罪をなくすために、これからは性犯罪者との共生が必要、最良の刑事政策とは最良の社会政策（再犯を防ぐ）になります、と福井氏は訴えました。

被害者支援活動の実施状況

2023年1月～12月分

1 相談件数

■電話（継続相談を含む）

765（月平均 63.8）

■面接（継続相談を含む）

44（月平均 3.7）

■面接相談の端緒

電話相談後	39	他機関の要請	5
その他	0	計	44

2 相談の内訳

■男女別相談件数（継続相談を含む）

男	126	女	661	不明	22	計	809
---	-----	---	-----	----	----	---	-----

■相談（被害）内容（継続相談を含む）

被害内容	件数	被害内容	件数
殺人・傷害致死	7	交通死亡事故	13
強盗（致死傷）	0	交通事故	2
強制性交等	296	財産的被害	13
強制わいせつ	112	DV	52
その他の性暴力	88	ストーカー	5
暴行・傷害	49	虐待（いじめ）	5
その他の身体犯	0	その他	167
危険運転致死傷	0	計	809

3 紹介（件数）

岡山弁護士会	1	県消費生活センター	0
L A岡山	0	交通事故相談所	0
法テラス岡山地方事務所	10	「おかやま被害者支援ネットワーク」加盟機関（上記以外）	0
精神科医	0	警察	9
臨床心理士	0	上記以外の機関	12
県女性相談所	1	計	34
県中央児童相談所	1		

4 直接的支援関係（回数）

警察関連支援	1	行政窓口等付添	0
警察への付き添い		県女性相談所への連絡・付添い	
被害届・告訴状の提出サポート		県・市児童相談所への連絡・付添い	
被害者連絡制度の利用		関係機関連絡会議への出席と連携	
警告等の申出のサポート		公営住宅等の確保等	
検察庁関連支援	4	引っ越し・住民票開示等	75
検察庁への付き添い		病院付添い	
被害者等通知制度の利用		病院（産婦人科医含む）紹介・付添い	
不起訴記録の開示		エイズ検査への立会	
検察審査会への申立など		精神科医の紹介・付添い	
出所情報の確保など		自宅訪問	0
裁判関連支援	22	生活支援	0
弁護士相談への付添い		宿泊施設提供	0
刑事裁判・審判への付き添い		その他	17
代理傍聴		法テラスへの付添い	
意見陳述のサポート		仲裁センターへの付添い	
保護命令申立など		マスコミ対応	
証人の遮蔽・ビデオリンクなど		その他	
	自助グループ	0	
	自助グループ開催		
合計 119			

5 犯給金等申請の補助（申請した件数）

犯給金申請のサポート	0
犯罪被害者遺児等に対する奨学金給付のサポート	0
まごころ奨学金申請のサポート	0

6 支援金（支給した件数）

全国ネット被害者緊急支援金の給付	1
VSCO 犯罪被害者支援金の支給	2
VSCO 性暴力被害者のための医療費等支援金の支給	22

性暴力被害者支援センター「おかやま心」の実施状況 2023年1月～12月分

上記 VSCO「被害者支援活動の実施状況」の内数になります。

1 相談件数（継続相談を含む）

673（月平均 56.1）

2 相談の内訳

■男女別相談件数（継続相談を含む）

男	65	女	586	不明	22	計	673
---	----	---	-----	----	----	---	-----

■相談（被害）内容（継続相談を含む）

強制性交等	284
監護者性交等	11
強制わいせつ	101
監護者わいせつ	10
その他の性被害	86
DV	50
ストーカー	3
その他	128
計	673

3 相談の端緒（件数）

ホームページ	32	友人・知人	2
トイレステッカー	6	マスコミ	4
コールセンター	108	その他	63
#8891	7	計	240
警察教示・提示	2		
関係機関からの紹介	16		



VSCOからのお願い

犯罪被害者支援自動販売機の設置にご協力ください

VSCOでは、関係各位のご協力により、VSCO支援自販機を設置していただいています。

自販機の設置により、設置者から、販売手数料の全部または一部を寄付していただくものです。寄付金は、犯罪被害に遭われた方やそのご家族、ご遺族の支援に充てられます。社会貢献の一環として、この自販機を設置していただける方や団体を募集しています。設置を検討してくださる場合は、VSCOの事務局へご連絡ください。



公益財団法人慈圭会 慈圭病院西館1階 ▶

——— たくさんのご寄付をいただき、ありがとうございました。 ———

[自販機設置場所]

※敬称略、名称は設置場所、順不同

公益財団法人慈圭会 慈圭病院、(株)大本組 本店ビル、大本組・梶岡建設・土井建設JV 総社現場、西の屋赤坂店、西の屋菊ヶ峠店、ドコモショップ平井店、ドコモショップ総社店、ドコモショップ津山小田中店、ドコモショップ岡山瀬戸店、(有)西山建設商事、(株)西山組、環太平洋大学(2台)、天野産業(株)、(株)セキュリティハウス、みのる産業(株)本社工場(3台)、みのる化成(株)本社、みのる化成(株)クリーンパックス工場(2台)、みのる化成(株)くろがね工場(2台)、みのる化成(株)牟佐工場、ENEOS(株)水島製油所、エムシー・ファティコム(株)(5台)、合同会社 LEAP JAPAN、岡山理科大学(6台)、モリマシナリー(株)、ナカシマプロペラ(株)、JFE西日本ジーエス(株)JFE見学センター、吉備国際大学、小金井自動車学校(栃木県)、神戸西インター自動車学校(兵庫県)、太秦自動車教習所(京都府)、公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院、(株)倉敷アイビースクエア、三菱自動車工業(株)水島製作所、医療法人社団尚志会 福山城西病院(広島県)、サンコー印刷(株)工場、社会医療法人盛全会 岡山西大寺病院、新見公立大学(2台)、(株)サンラヴィアン(2台)、社会福祉法人恩賜財団済生会支部岡山県済生会 岡山済生会総合病院、(株)千田組 本社(2台)、アットパーク大供 第2駐車場、玉野総合医療専門学校、友田たばこ店、(有)大成玩具、アップル歯科クリニック、横井コミュニティハウス、グッドライフグループ津高介護センター、津島新野(フジワラ)、美川コミュニティハウス、岡山地方方法務局、岡山地方方法務局 西古松合同庁舎、美作大学 新白梅寮、(株)カーテン・じゅうたん王国 岡山今店、あいおいニッセイ同和損害保険(株) 岡山支店岡山支社、第2アマノビル(設置台数72台)

[協力ベンダー会社]

サントリービバレッジソリューション(株)、ヒカリエンタープライズ(株)、FVジャパン(株)、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)、(株)キリンビバックス、ネオス(株)、(株)スギノ、(有)日東ベンディング中国、(株)コーシン、(株)野口商店、(株)フジタ商事、(株)伊藤園

本で広がる支援の輪～ホンデリング～にご協力ください

不要になった書籍を、所定の申込書とともに、段ボール箱や紙袋にお詰めいただき、段ボール箱等の表面にVSCOのホームページからダウンロードした申込書を貼ってください。

ただし、ISBNのない本、百科事典、個人出版本、雑誌は取り扱いできません。

(注) 現在、新型コロナウイルス感染症により電話での受付が中止となっており、インターネットでの受付のみとなっています。詳しくはVSCO事務局までお問い合わせください。

11月26日開催の「犯罪被害者支援フォーラム2023 in おかやま」の会場で、あした彩の学生の皆さんが「ホンデリング・プロジェクト」を行い、たくさんのお書を集めていただきました。ご協力ありがとうございました。



募金箱の設置をお願いします

店舗、病院、企業等にVSCOの募金箱を置かせてください。

12月31日現在、岡山県遊技業協同組合の加盟店・病院・美容院・喫茶店等 59か所に設置していただいています。



一般財団法人「厚生会」から毎年多額の寄付金をいただいております。

ご支援ありがとうございます。

公益社団法人被害者サポートセンターおかやま (VSCO) 会員名簿

(2023.12.31 現在 50音順 敬称略)

会員の皆様、いつもご支援ご協力ありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

正会員 【個人】

逢沢 一郎	衆議院議員
阿部 俊子	衆議院議員
荒木 信之	弁護士
家野 昌子	非常勤講師
石井 正弘	参議院議員
板野 次郎	弁護士
井田千津子	弁護士
出原 陽平	看護師
伊東 京子	
井上 志乃	
井上 雅雄	弁護士
今村恵美子	弁護士
江見由香里	
大塚 愛	岡山県議会議員
奥田 哲也	弁護士
鬼木のぞみ	岡山市議会議員
小野田紀美	参議院議員
片山 文	公認心理師
片山 恵子	
加藤 勝信	衆議院議員
加藤 航平	弁護士
加藤 裕司	会社役員
金重恵美子	岡山中央病院 副院長
木口 京子	岡山県議会議員
桐野 忠夫	地方公務員
草加 成章	団体職員
小山 実	岡山商科大学付属高校 教員
作花 知志	弁護士
澤畑 優太	弁護士
嶋村 稔	
鈴木 一成	会社経営
高井 崇志	

高橋 雄大	岡山市議会議員
高原 俊彦	岡山県議会議員
高山 裕子	弁護士
竹原 幹	瀬戸内市議会議員
田尻 祐二	岡山市議会議員
田村比呂志	弁護士
坪井 一彦	社会福祉ボランティア士
鶴井 洋子	
寺田 和子	保健師
飛山 美保	弁護士
中島 豊爾	岡山県精神科医療センター 理事長
中原 淑子	岡山市議会議員
中村 純子	
鍋島 千秋	
難波 光	
新谷 恭二	(株)リースキン岡山 代表取締役
萩原 誠司	美作市長
橋本 岳	衆議院議員
林 潤	岡山市議会議員
播間 友恵	
日笠 久栄	
東 隆司	弁護士
平松 真紀	弁護士
福田 司	岡山県議会議員
藤原 恭子	
堀井 茂男	慈圭病院 名誉院長
前原 幸夫	税理士
松村 正基	会社員
松本 好厚	岡山市議会議員
三木 亮治	岡山市議会議員
宮本美穂子	弁護士
三好 英宏	弁護士

室賀 康史	室賀ネジ機工㈱ 代表取締役
森本 治雄	税理士
森脇 正	弁護士
森脇 久紀	
安田 寛	弁護士
山崎 悦子	
山下 貴司	衆議院議員
山本 諒平	弁護士
吉田由紀子	
若林 久義	会社役員

以上の他に匿名希望12名、合計86名です。

正会員 【団体】

株式会社 山陽設計
蜂谷工業 株式会社

以上の2団体です。

正会員・賛助会員になって、VSCOをサポートしてください

年会費は、次のとおりです。

正会員 個人	1口	10,000円	賛助会員 個人	1口	2,000円	
	団体	1口	30,000円	団体	1口	10,000円

ご不明の点は、VSCOの事務局（電話 086-223-5564）へお問い合わせください。

賛助会員 【個人】

出井 敏雅	日下 知子	土器 悦子	平部 一美	矢野 有哉
猪木 健二	黒瀬 達夫	中村 叡子	藤井 恵子	山崎 真男
今井 洋子	小林 淳	中川 佳子	藤澤 浩子	山崎 資司
岩瀬 玲子	酒井 健裕	長崎 司	藤原 一徳	山田 成一
上山 俊明	崎本 敏子	永瀬 隆一	本城 宏一	山水祐喜子
太田垣弘枝	笹井 初音	中塚 多聞	前田 厚美	山本 賢昌
大森 一枝	芝田 正剛	中西 邦夫	正木 さわ	渡辺 典子
岡崎 尚子	嶋村 洋子	中山 正汎	松本 一三	
岡田 明子	新谷 芳子	中山美恵子	三浦 一男	
岡田 孝文	神土 純子	難波 賀恵	水川美代子	
奥津 光生	杉山 奉文	二階堂 保	水舟 雪枝	
小野 恭平	鈴木 正二	仁木 壯	光畑 俊行	
小野富貴子	瀬戸 遼人	花田 雅行	三村美智子	
小埜 雄一	妹尾さくら子	原田 清志	三宅 邦子	
片山 和良	高橋 茂	日笠 栄	三宅 修司	
勝浦 義政	高橋 吉保	疋田 克繁	向井 一紀	
河端 武史	瀧本 孝	平井 広隆	八代 武利	
木村 健治	伊達 勝則	平田 祥之	安信 政男	

以上の他に匿名希望 69 名、合計 148 名です。

賛助会員 【団体】

株式会社 アイスライン	総社花萬 株式会社
アサヒ通信システム 株式会社	株式会社 中国銀行
株式会社 大手饅頭伊部屋	中国建設工業 株式会社
株式会社 大原組	株式会社 トマト銀行
岡山医療生活協同組合	株式会社 トンボ
岡山県貨物運送 株式会社	ナカシマプロペラ 株式会社
公益社団法人 岡山県看護協会	中谷興運 株式会社
岡山県美容生活衛生同業組合	有限会社 中村保険企画
岡山県民共済生活協同組合	ネットトヨタ山陽 株式会社
岡山市連合婦人会	株式会社 バーズコミュニケーション
おかやま信用金庫	株式会社 馬場総合鑑定所
岡山タイヤ販売 株式会社	備北信用金庫
岡山トヨペット 株式会社	福山電業 株式会社
岡山北西ロータリークラブ	更生保護法人 備作恵済会 古松園
株式会社 小倉組	三井住友海上火災保険 株式会社 岡山支店
弁護士法人 菊池綜合法律事務所	みのるホテル事業 株式会社 (後楽ホテル)
木下サーカス 株式会社	株式会社 山田養蜂場本社
クニトミ工芸	一般財団法人 共愛会 芳野病院
一般財団法人 倉敷成人病センター	
クラブン 株式会社	
医療法人 ミネルヴァクリニックソフィア	
株式会社 廣榮堂	
サンコー印刷 株式会社	
山陽施設工業 株式会社	
株式会社 山陽新聞社	
株式会社 サンラヴィアン	
公益財団法人 慈圭会 慈圭病院	
医療法人 清水医院	
医療法人 清水レディス・クリニック	
株式会社 セキュリティハウス	

以上の他に匿名希望 3 団体、合計 51 団体です。



被害者支援員養成講座を受講してみませんか？

（被害者サポートセンターおかやま《VSCO》主催）

被害者サポートセンターおかやま(VSCO)は、犯罪による被害者や、その家族・遺族の方に対して、被害回復のため、電話・面接相談や警察署・検察庁・裁判所や医療・行政機関へ付き添うなどの支援を行っています。
2024年度の支援員養成講座を開催し、支援員(第18期生)を募集します。

【応募要件】

- ★ 被害者支援の活動に参加できる方
- ★ 被害者支援について学びたい方
- ★ 職務上、被害者支援について学ぶ必要のある方
- ★ 被害者支援ボランティアとして活動したい大学生

研修委員会の判断により、受講をお断りすることがあります。

【会場】きらめきプラザ
(岡山市北区南方)

基礎講座

定員	一般 30名・学生 30名	講座回数	6回
資料代	10,000円(初回一括・ただし大学生は無料)		
申込締め切り	令和6年5月13日(月) 申込用紙は下記サイトから		
日程	時間	9:30～12:30	
1回	5月26日(日)	開講式、被害者支援の歴史・VSCOの活動内容について	
2回	6月9日(日)	女性の被害(DV等)の対応について、性犯罪被害者のサポート	
3回	5・6月中の平日	刑事裁判の傍聴と裁判所職員の解説	
4回	6月30日(日)	経済的被害からの回復、消費者被害と消費生活センターの働き	
5回	7月14日(日)	児童虐待と児童相談所の働き、ストーカー被害者のサポート	
6回	7月28日(日)	被害者支援のあり方 最愛の家族の命を奪われた遺族の立場から、閉講式	

講座内容は予定



(基礎講座の様子です)



～詳しくはVSCOホームページをご覧ください～

VSCOおかやま

検索

相談・支援は無料 秘密厳守

犯罪被害相談電話
にーさん ころろに
086-223-5562
月～土 10時～16時
(祝日・年末年始は休みます)

性暴力被害者支援センター「おかやま心」
086-206-7511
月～土 9時～17時
(夜間・休日は国のコールセンターが受け付けます)

はやくワンストップ
#8891 (全国共通短縮番号)

岡山県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体
全国被害者支援ネットワーク加盟・民間支援団体

公益社団法人被害者サポートセンターおかやま

ヴィスコ
(VSCO)

事務局 〒700-0824 岡山市北区山下2丁目2番15号
電話 (086)-223-5564
FAX (086)-201-5564
E-mail vsco@vsco.info
H P http://vsco.info

この機関誌は、「赤い羽根共同募金」の助成を受けて作成しています。